



2024年5月31日

各位

会社名 クオンタムソリューションズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 Francis Bing Rong Zhou
(コード番号 2338 東証スタンダード)
問合せ先 経営企画室 富田 剛司
TEL 03-6910-0571 (代表)

財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、金融商品取引法第24条の4の4第1項に基づき、2024年5月30日に関東財務局に提出いたしました2024年2月期の内部統制報告書において、開示すべき重要な不備があり、当社の財務報告に係る内部統制は有効でない旨の記載をいたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 開示すべき重要な不備の内容

当社は、投資有価証券評価プロセスにおいて、当期に取得した投資有価証券の株式価格の算定についてDCF法や直前取引の大手金融機関の同社株式取得価格等を参考にして取得価額を算定致しましたが、期末の投資株式価額の評価算定に付き、監査法人の指摘に基づき、純資産評価方式にて算定したところ簿価を大幅に下回る評価結果となり、同株式に付き、減損評価と致しました。また、当社は、関係会社株式評価プロセスにおいて、子会社の純資産について投資簿価の50%を下回ってはいなかったものの、50%に近い状況において、監査法人の指摘に基づき、来期の事業計画を勘案し、投資損失引当金として計上致しました。当該監査法人からの指摘はいずれも財務報告に重要な影響を与えており、当社の決算・財務報告プロセスは、さらなる改善が必要であると判断し、開示すべき重要な不備に該当すると判断いたしました。

当社は、これらの内部統制の不備が当社グループにおける財務報告書に重要な影響を及ぼすことになった点を踏まえ、2024年2月期の内部統制報告書において、財務報告に係る内部統制に開示すべき重要な不備が存在する旨の報告をいたしました。

2. 連結会計年度の末日までに是正できなかった理由

開示すべき重要な不備が連結会計年度の末日までに是正されなかった理由は、当該重要な不備の判明が連結会計年度の末日以後になったためです。

3. 開示すべき重要な不備の是正方針

当社は、財務報告に係る内部統制の重要性を認識しており、当社は、主に以下の再発防止に向け改善施策を実施しております。

決算・財務報告プロセスにおける検証機能の強化

- ・新規事業の資産計上に対する、事実関係の詳細把握と、資産性・回収可能性のチェック機能強化
- ・子会社管理体制の整備及び子会社投資評価における会計基準に基づく網羅的・客観的かつ合理的な評価プロセスの確立
- ・監査法人との情報共有体制の強化

4. 連結財務諸表等に与える影響

上記の開示すべき重要な不備に起因する修正事項は、全て連結財務諸表に反映しております。

5. 連結財務諸表及び財務諸表の監査報告における監査意見

無限定適正意見となっております。

以 上